



発行
西尾市立
一色西部小学校
PTA
編集
PTA 文教委員会



乗り越えた先に見えたもの

PTA会長 倉内 優作

令和三年度のPTA会長を務めさせていただいております倉内です。日頃は令和三年度のPTA活動にたくさんの保護者の皆様と先生方にご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルスにより子供たちの学習や行事に影響が出てまいりました。子供たちの安全を最優先に考え、臨機応変にご対応いただいた先生方には本当に感謝しありがとうございます。保護者を代表して、お礼申し上げます。本当にありがとうございます。

先日も遅れての開催となりましたが、無事運動会を開催することができました。一年生には小学生になって初めての運動会であり、六年生には小学生最後の運動会になります。子供たちそれぞれにいろいろな気持ちをもって臨んだ運動会だったと思います。楽しかった子や悔しい思い

をした子、それぞれ感じたことと違うと思いますが、大切な思い出になつてくれることを願っています。



さまざま制限がある中で、子供たちの笑顔や一生懸命な姿、とてもすばらしい演技を見られたことが大変うれしく感じられました。新型コロナウイルスの影響で暗いニュースが多い中で子供たちの姿に元氣付けられた保護者の方も多いかと思えます。来年度は、なんの制限もなくコロナ前と同じ形で運動会が開催できることを切に願っています。

まだ今後も学校行事はございます。新型コロナウイルスによる影響で、行事が中止や延期等になることがあるかと思えます。子供たちのことを常に考え、学校と保護者で子供たちが安全かつ楽しい学校生活を送ることができるようしていきたいと考えておりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



タブレット活用スタート

校長 齋藤 英二

新型コロナウイルスによる影響が続く中、行事の予定変更や感染防止対策など、保護者の皆様ならびに地域の皆様には、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。加えて、学校運営に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。学校では、感染レベルが引き下げられた十月以降、延期されていた運動会や修学旅行、山の学習、学校公開を行い、どの活動も感染対策をとりながら、子供たちの学びは概ね達成できていると考えております。

本年度、一人一台、学習用タブレットが配付され、授業での活用が始まりました。まずは触れることや機能に慣れるために、活用の回数を多めにし取り組んでいます。例えば、今まで黒板やプリントに書いて発表していたことを、各自がノートやタブレットで写真に撮り、それを学級全員の前でタブレットに送信して、それを見合いながら互いの意見を交流するといった方法です。短時間で多くの情報を共有することができ、今まで自信がなくて手が挙げられなかった子の意見も、ちゃんと皆が知ることででき、その中に光る意見を見出



することができるようになりました。また、十一月十三日の授業公開では、家庭へのタブレットの持ち帰りを見通した学習と保護者の方への説明を行い、低学年を中心とした保護者の方への協力をお願いさせていただきました。ただ、タブレット導入を手放しで喜ぶわけにはいかないと考えています。昨年度のコロナによる臨時休校から得た「顔の見える授業の重要性」を教訓に、子供たち同士が互いの顔を見て考えや思いを伝えたり汲み取ったりするぬくもりのある学習とタブレットを活用した効率のよい学習とをどう組み合わせたらよいかを、今後検討していく必要があると考えています。

業間マラソンでは、寒風の中、苦しさに打ち勝とうと必死に走りぬくの学習では、鳳来寺へ続く石段を、友達を励ましながら一緒に登る姿に子供たちの優しさを感じました。たとえコロナ禍であっても、子供たちは一歩一歩、着実に歩みを進めています。その歩みを、今後も支援していく所存であります。保護者と地域の皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

一西小の教育活動より

生活習慣の善し悪しが

左右するもの
〜コロナを乗り越える人、
コロナに飲み込まれる人の差〜

養護教諭 深見 奈央

十月八日（木）に、名古屋学芸大
学教授の森英子先生を講師にお迎え
し、五年生とその保護者の方を対象
とした学校保健委員会を開催しまし
た。体調不良で保健室へ入室する児
童の中には、夜遅くまでゲームをし
ていたために寝る時間が遅くなって
しまったという子もいます。睡眠が
なぜ大切なのか、メディアが身体へ
どのような影響を与えるのかについ
て、子供たちに、とても分かりやす
くお話をしていただけでした。子供
たちからは「夜にゲームをしていた
けれど、昼間太陽が出ているときに
やった方が

いいことが
分かった。」
「この体と
一生をすご
すので、大
切にした
い。」と、
今後の生活
を考えるよ
い機会とな
りました。



運動会を終えて

うんどうかいで
リレーをがんばったこと

一年一組 おかむら そうわ

ぼくは、はしることが大好きです。
だから、リレーのせんしゅにえらば
れてうれしかったです。れんしゅう
でがんばったことは、バトンをわた
すことです。

うんどうかい
で、おとさ
ずに二年生にバ
トンをわたす
ことができた
ので、うれし
かったです。

でも、まけて
しまったので
かなしかったです。
です。もつと
はやくはしれ
るようになり
たいです。

え顔で一生けんめいおどった
ダンス

二年一組 三矢 茉和

わたしがうんどう会でがんばった
ことは、え顔で一生けんめいおどっ
たダンスです。



わたしは、四月からのダンスれん
しゅうの中で、手をびんびんにのぼ
すことと自しんをもつてぜん力でお
どることをがんばってきました。当
日は、げん気いっぱい、え顔のダン
スをお父さん
やお母さんに
見せることが
できてうれし
かったです。

来年はダン
スも少しむず
かしくなると
思うけれど、
さらにげん気
いっぱいのお
顔でおどれる
ようがんばり
たいです。

がんばってよかった運動会

三年一組 荒井 空

十月二
十三日に
運動会が
ありまし
た。

まず、
一年生と
二年生の
ときよう
走とダン
スを見ま



心に残った運動会

四年二組 天野 芽依

した。ダンスがすごかったです。そ
して、いよいよ三年生と四年生の番
です。ぼくは第四レースで走りまし
た。がんばって走りました。ですが、
全員速い子で、さいごまであきらめ
ないで走りましたが四位でした。す
ごくくやしかったです。せめて三位
がとれたかったです。でも、家に帰
ったら、
「がんばったね。」
とほめられました。がんばって走っ
てよかったと思いました。

みんなでおどったBTSの「ダイ
ナマイト」が、とても心に残ってい
ます。ダンスでは、三つの目ひよう
を立てて、
練習して
きました。

一つ目
は、バス
トをつく
すことで
す。何度
も練習し
、
がんばっ
ている友
達と高め
合って、



全力を出すことができました。

二つ目は、タイミングを合わせることで。音楽をしっかりと聞き、みんなとタイミングを合わせるように意識しました。

三つ目は、笑顔です。笑顔をずっと続けることはむずかしかったけれど、練習でがんばった分、本番で笑顔になることができました。

三つの目ひようをがんばったことで、家族に笑顔をとどけることができ、とてもうれしかったです。

初めての組立体操

五年一組 三矢 琉名

運動会をふり返り、わたしが一番がんばったことは、組み立て体操です。初めての組み立て体操にとてもきん張りました。昨年と同じく新型コロナウイルスのえいきようで、友達と組み合わせない演技でしたが、とても楽しくできました。来年は友達とつくり上げる



大技ができるとうれしいです。

次ががんばったことは、徒競走です。一位にはなれなかったけれど、みんなの応援がたくさん聞こえ、ゴールまで全力で走り切ることができました。来年は一位になりたいです。

組み立て体操も徒競走も楽しかったし、六年生と心をつないで取り組めたので、とても良い思い出になりました。来年もがんばりたいです。

最高の演技

六年二組 中川 悠希

運動会をむかえる前に、ぼくは「五・六年生で一つの組み立て体操の演技をつくりあげたい」という個人的な目標を立てました。



しかし、いざ練習が始まると、手やひざに砂がささってとても痛く、大変でした。それでも、五・六年生のみなどと一緒に本番で最高の演技を創りあげられるようにがんばりました。

本番では、最後まで真剣に取り組み、一生思い出に残る、そんな最高の演技にすることができました。

がんばったことはこれだけではありません。広報委員の活動や徒競走など、最高学年にふさわしい行いをするように意識しました。これらのことがきちんとできた時はうれしく、達成感がありました。

今年の運動会は自分の中で史上最高の運動会になりました。この経験を胸に、今後も何事にも真剣に取り組むことができるようになりたいです。

深める絆、深まる絆

五年二組 荒川 奈夕

「私、実行委員やりたい。」

ここから、私の山の学習が始まりました。私たちのスローガンは、「50人の絆深めよう最高の山の学習」です。絆を深めることで、みんなで支え合いながら成長できるように、このスローガンを掲げ、学校生活に励んできました。

山の学習がこれまでの行事と大きく違ったのは、「自分達でつくる」

ということでした。キャンプファイヤーの出し物の振り付けや、みんなが楽しめる企画も自分達で考えるものでした。その分準備が大変でしたが、みんなの力を合わせることで、絆が深まるのを実感しました。そうして、50人全員で準備をしてつくり上げる山の学習は、とても楽しく達成感も大きかったです。また、自分の新たな課題も見つかる、とても充実したものになりました。

しかし、自分達でつくり上げた山の学習も、陰でたくさん準備をし、支えてくれた先生や家族がいなければできませんでした。このことに感謝して、今度は下級生を支え、学校を引っ張っていくことで恩返しをしていきたいです。



一生に一度の最高の思い出

六年一組 宮地 咲由子

私は、修学旅行の実行委員になりました。修学旅行前に、実行委員長と副委員長を中心に、実行委員で協力して、スローガンを決めたり、レベルアップ週間を設けてよりよい修学旅行になるように呼びかけたりしました。

修学旅行中は、スローガンである「共に学び、共に楽しみ、共に協力して、SMILE UP！一生に一度の最高の思い出を創り上げよう」を意識して、みんなへの声かけやあいさつ、整列、時間を守るなど、自らすすんで行動するようにしました。私がい



っかり行動することで、みんながついてきてくれたので、実行委員としてがんばってよかったと思いました。実行委員として修学旅行に向けてがんばったこと、実行委員にならないうと分らなかった仲間をまとめることの大変さ、実行委員だからこそ感じた達成感、でも、何より、六年生全員が笑顔で修学旅行から帰って来られたこと、それら全てを含めて私にとって、一生に一度の最高の思い出を創り上げることができました。

PTA活動より

きずなの力を感じた運動会

PTA文教委員長 辛島 幸恵

一西小の運動会が秋晴れの中、十月二十三日に開催されました。今年の運動会は「魂燃やせ！きずなの力で勝利をつかめ！」のスローガンのもとで心を一つに行われました。

一・二年生の演技の「Make you happy」は軽快なリズムに合わせ可愛らしく踊る姿にコロナ禍の中で明るい光を感じました。
三・四年生の「dynamite」の演技は力強くキレのあるダンスに曇を晴らす明るい元気をもらいました。
五・六年生の組み立て体操ではソーシャルディスタンスも考慮され、

接触しない組み立て体操という中で演技を揃えることが非常に難しいと感じましたが、手足の高さから指先までピタリと揃い、心も一つに揃っていると感じるすばらしい演技でした。

徒競走では、全児童が最後まで全力で走り抜ける姿に感動しました。そして、最後のリレーでは、一年生から六年生までバトンを繋ぐ姿に、応援している保護者や先生方までみんな一体になっているように感じました。

このようなすばらしい運動会で子供たちの成長を見る機会がいただけただけは、コロナで延期となりながらも、先生方と児童の皆さんがコロナ禍の中でも人と人の結び付きを大切にしたいとの強い思いが通じたのだと思います。

これも日頃から先生方をはじめ、保護者の皆様のご尽力のおかげです。ありがとうございます。

笑顔あふれるあいさつ

PTA生活委員長 黒野 恵子

七月九日、私は生活委員長としてあいさつ運動に参加しました。校門の所でみんなが来るのを待っている、

「おはようございます。」と子供たちが笑顔で元気よくあいさつしてくれました。私はびっくりし

ました。 コロナ禍で子供たちはいろいろな制限がかけられる中で生活しています。学校では歌をみんなが歌えなかったり、給食は会話をしないで黙って食べたりするなど、感染予防のためにできないこと、がまんしていることがたくさんあります。そんな中、コロナに負けず、笑顔あふれる元気なあいさつをしてくれる子供たちを見て、うれしく思いました。私も子供たちに負けないように「おはようございます。」とあいさつしました。二人の息子もちゃんと「おはようございます。」と返してくれました。子供たちが健やかに育っている姿を見ることができ、あいさつ運動に参加してよかったと思えました。

子供たちの笑顔がさらに輝くようにコロナの終息を願うとともに、私たちが子供たちを陰ながら支えていきたいです。

資源回収について

本年度は新型コロナウイルスによる非常事態宣言により、まだ一度も実施できていません。
第三回資源回収は、一月二十九日(土)に実施します。よろしくお願います。